

## 【草花の部屋】

アカンサス・モリス (キツネノマゴ科ハアザミ属 *Acanthus mollis*)

**和名**：ハアザミ (葉薊)      **別名**：      **英名**：Bear' s Breeches

シソ目 常緑多年草      **原産地**：地中海沿岸

**花言葉**：芸術、技巧      **花の色**：白、桃



← 写真-1 アカンサス・モリス  
撮影日：2018年04月28日  
撮影場所：アテネ  
(ギリシャ)にて  
撮影者：M さん

← 写真-2 アカンサス・モリス  
撮影日：2018年04月28日  
撮影場所：アテネ  
(ギリシャ)にて  
撮影者：M さん



↑ 写真-3 アカンサス・モリスの葉  
撮影日：2018年04月28日  
撮影場所：アテネ(ギリシャ)にて  
撮影者：M さん





← 写真-4 アカンサス・モリス

撮影日：2018年04月28日

撮影場所：アテネ(ギリシャ)にて

撮影者：M さん

アクロポリスの丘にほど近い、アドリアヌス門の道路向いにある花壇で見かけました。一見、ルピナスの仲間かな？とも思いましたが、葉が全く異なっていました。葉には深い切れ込みと光沢のある、大きな葉でした。

晩春から初夏に高さ 2m ほどの花茎を出し、緑またはやや紫がかかったとがった苞葉とともに白、赤などの筒状の花をつけ、日本には大正時代に渡

来したそうです。

学名のアカンサスは「とげ」の意味があり、花のつけ根の苞に鋭い棘があることに由来しているそうです。

アカンサス属は、地中海沿岸地方を中心に 50 種ほどがあり、最も一般的で多く栽培されている種がアカンサス・モリス（和名ハアザミ）だそうです。モリスの他、トゲハアザミと呼ばれるスピノサス種は、小型で花つきもよく、コンテナなどに利用するのに便利です。そのほかには、冬期落葉するハンガリカス種などが栽培されているそうです。

アザミに似た形の葉は古代ギリシャ以来、建築物や内装などの装飾のモチーフとされ、特にギリシャ建築のオーダーの一種、コリント式オーダーはアカンサスを意匠化した柱頭を特色としているそうです。アカンサスをモチーフとした柄は絨毯にもしばしば用いられ、ビザンチンリーフとして知られているそうです。ギリシャの国花。

<ちょっと一言>

\* オーダー（建築） - 建築の基本単位となる円柱の形式